

KD0759

2024年10月

販売可能機関：すべての機関

慶應義塾大学出版会 2024年度末キャンペーン

教育と医学

セールスID

KS00001490

2023年1・2月号～2024年9・10月号（隔月刊・全11冊）

子どもの心とからだを考え、支える人のために。

第一線の研究者や気鋭の若手が、特別支援教育についての最新情報を専門領域外の読者にも分かるようにコンパクトにまとめて執筆。現代を反映する問題や社会のニーズに応えるテーマを取り上げ、充実した内容の論文を多数収録しています。

（上記より前の号の電子版販売は、今のところ予定しておりません）



年度末限定!

(2024年11月1日～2025年3月31日)

①セット購入の場合

- 10% OFF の特価にて提供します。
※¥24,200→¥21,780 (同時アクセス3、本体価)
- ご購入済のタイトルがセットに含まれる場合、
ご購入済アクセス数に3アクセスが加算されます。

②単品購入の場合

- 裏面タイトルリストのタイトルを単品ご購入の場合、
同時アクセス1の価格で同時アクセス数3のライセンスを
恒久的に提供します。

NO	書影	書名	著者	JANコード	底本刊行 年月	Product ID	フォーマット	同時アクセス3 本体価
内容紹介								
1		教育と医学 2023年1・2月号	教育と医学の会【編】	4910030230239	202212	KP00074972	PDF	¥2,200
		（特集）子ども・家庭への支援の新展開と課題——子ども虐待対応を中心に 本特集は、まさに子どもたちを社会で支えていくことを多方面から論じたものです。特に、こども基本法の成立や児童福祉法の改正など、子どもを支えるガイドラインとも言うべき法律のポイントについてタイムリーに、そして丁寧に概説されています。さらに、各論では、家庭への支援や市町村の役割、ショートステイによる支援、親子支援など、子どもの成長を支える保護者が孤立しないように様々な支援が存在することに気づかされます。法律が改正・施行され、そして様々な支援が、それを必要とする子どもと家庭に行き届き、子どもにとってのウェルビーイングが実現することを願うばかりです。						
2		教育と医学 2023年3・4月号	教育と医学の会【編】	4910030230437	202303	KP00076902	PDF	¥2,200
		（特集）改めて、教育・教師の魅力を考える 近年、よく耳にする教育ニュースといえば、「不登校・いじめの増加」「教師の多忙化」「教員不足」等、ネガティブな情報が多いように感じられます。そして、こうした情報に触れ続けることで、私たちは教師や学校教育に否定的なイメージを抱くようになります。しかし、従来の枠組みを乗り越え、新しく魅力ある教育を模索している地方自治体・学校も多く、さらに教員の大量退職・大量採用を経て、数多くの元気な若手教員が学校現場に増えているのも事実でしょう。また、新型コロナウイルス感染症の広がりの中、オンライン授業なども急速に普及し、学校現場は急速な変貌を遂げています。そこで本特集では教育行政・学校現場・教員養成の立場から、日本の教育と教師の魅力（長所）について再度考えてみたいと思います。						
3		教育と医学 2023年5・6月号	教育と医学の会【編】	4910030230635	202305	KP00079247	PDF	¥2,200
		（特集）ヤングケアラー——家族を支える子どもの現実を考える ヤングケアラーが直面する最たる問題は、本号執筆者陣が一様に指摘しているように、ケアの場面以外にも、当たり前の生活が過ごせず、さらに今後の航路において、さまざまな本人の願いの芽が摘まれ、思いがかなわないことではないでしょうか。家族ケアが前提という問題があれば、まずは社会的ケアの社会に転換していくことが望まれますが、早急な変革は難しいと思われる。そこでヤングケアラーを支える仕組みをあちこちで作ることが肝要ではないでしょうか。そのヒントが本号にはちりばめられていると感じます。						
4		教育と医学 2023年7・8月号	教育と医学の会【編】	4910030230833	202307	KP00081905	PDF	¥2,200
		（特集）ネット時代における教育の未来と子どもの成長 20世紀末におけるインターネットに代表されるICT（情報通信技術）の飛躍的な発展は、世界的規模で高度な情報化を急激に進化させ、私たちの生活や社会のあり方にパラダイムシフトをもたらしました。当然ながら、ICTの進歩は子どものこころとそだちにも大きな影響を与えており、学校教育自体も大きく変わり始めました。従来の知識の記憶学習の意義が薄れ、ネット上から必要な情報を検索して考えるというリテラシーが求められるようになりました。こうしたICTを介する教育の普及をさらに推し進めたのが、2020年以降の新型コロナウイルス感染症のパンデミックであったことはいうまでもありません。今回の特集では、ICT教育に造詣の深いわが国の識者に今後の教育の未来と子どもたちの成長を占ってもらいました。						
5		教育と医学 2023年9・10月号	教育と医学の会【編】	4910030231038	202309	KP00083678	PDF	¥2,200
		（特集）発達特性に対応する教師の授業力——特別支援教育と教員養成の新展開 本特集では、小・中学校における個々の違いに応じた学校づくり、学級づくり、授業づくりのために必要となる教員養成のコアカリキュラムとは何か、について検討します。それとともに、子どものそれぞれの体験・理解や学びの難しさの違い、発達特性を踏まえた支援を展開していく教師の資質・能力、すべての教師が身に着けてほしい資質・能力とは何かを考えます。個々の違いや発達特性などに応じた学校づくり、学級づくり、授業づくりの具体的実践についても紹介します。そして、「令和の学校教育」として、これからの時代の変化、それに柔軟に対応していける免許制度や教員養成のあり方についても考える機会とします。						
6		教育と医学 2023年11・12月号	教育と医学の会【編】	4910030231236	202311	KP00087766	PDF	¥2,200
		（特集）子どもたちの生命（いのち）を守るために-自死予防を中心に 学校や家庭が安全・安心な場所であること、「生きていることは楽しい」と思えるような環境をどのように作っていくのか、また、「生きていたくない」と子どもが考えたときに、私たち大人はどのような対応を取れるのか、子どもの小さな変化に気付くためには、何が重要なのかを考える特集とします。						
7		教育と医学 2024年1・2月号	教育と医学の会【編】	4910030230246	202401	KP00090008	PDF	¥2,200
		（特集）生きる力を育む子育て—「令和の子育て」を考える インターネットやSNSなどのデジタル世界の言葉が子育てをする親たちを惑わせたり、悩ませたりすることもあるでしょう。それでも、共同体が縮小した、あるいは消滅したとされる現代においてなお、共同体的な機能がいろいろな場所に生起することに期待することができるのではないのでしょうか。それらと関わりながら、悩める子育てをともに考える場所を大事にしていくことが令和の子育ての一つのあり方なのではないかと思えます。これからへの期待を込めて特集をお読み頂けたらと思います。						
8		教育と医学 2024年3・4月号	教育と医学の会【編】	4910030230444	202403	KP00094186	PDF	¥2,200
		（特集）発達障害のグレーゾーンの子どもたち—その理解と支援 最近の教育現場で発達障害の可能性があるとされる子どもたちは、厳密には自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの医学的診断基準を満たさないことが少なくありません。そのような事例は「グレーゾーン発達障害」と呼ばれることが多いですが、正式な診断名ではありません。とはいえ、グレーゾーンの子どもたちが抱えている困難や苦痛が軽いというわけでは決してありません。本特集では、発達障害のグレーゾーンと呼ばれる子どもたちの理解と支援を通して、ひとりひとりの子どもたちの個性に応じた育ちと学びのあり方を考えてみたいと思います。						
9		教育と医学 2024年5・6月号	教育と医学の会【編】	4910030230642	202405	KP00097734	PDF	¥2,200
		（特集）教師のキャリアを考える 学校はいまどのような状況にあり、現場の人々はどうか対応しようとしているのでしょうか。今号では「聖職としての教師」としてではなく「職業としての教師」や「教師のキャリア」という視点から、教職の現在と未来、そして持続可能な学校教育のあり方などについて、アメリカの事例も参照しつつ、検討を行ってみたいと思います。						
10		教育と医学 2024年7・8月号	教育と医学の会【編】	4910030230840	202407	KP00099517	PDF	¥2,200
		（特集）子どもを危険から守る——犯罪・非行・事故への対応と支援 本号では「子どもを危険から守る」ことを主題として、多様な専門領域の論者の方々にご寄稿いただきました。子どもをリスクゼロの空間に庇護しようとするのではなく、心理的安全性が確保された環境のなかで、子どもがある程度リスクを冒しつつ徐々に自律的となってゆけるよう後押しすること—それが、本当の意味で子どもを危険から「守る」ことになるのだと思います。						
11		教育と医学 2024年9・10月号	教育と医学の会【編】	4910030231045	202409	KP00101753	PDF	¥2,200
		（特集）子どもの心と育ちを理解するツール 今回の特集では、心理検査や発達検査の紹介や解説だけでなく、それらのアセスメントツールを教育や医療、発達支援の現場でどのように活用するか、子どもの心理や発達をどう見立て、支援につなげるのかについて考えたいと思います。						

・上記タイトルリストの「同時アクセス3本体価」は、キャンペーン期間外は「同時アクセス1」の本体価です。キャンペーン期間中は同時アクセス1,2の本体価は設定されておりません。

慶應義塾大学出版会 2024年度末キャンペーンは 全7セット ございます。

- ①KS00001484 賃金格差と労働生産性を考える
- ②KS00001485 くらしと法律
- ③KS00001486 人は動く
- ④KS00001487 ジェンダー・フェミニズムを考える
- ⑤KS00001488 特別支援教育
- ⑥KS00001489 学習実用書
- ⑦KS00001490 教育と医学

価格、タイトル一覧はこちら⇒https://kinoden.kinokuniya.co.jp/product/img/KD0753_list.xlsx

